令和７年度　第１回　地域連携推進会議　議事録			
作成日	令和７年 11 月 26 日（水）	作成者	津村希世美
日時	令和７年 11 月 14 日（金）１３：３０～１５：００		
場所	木の香ほーむ陽の木　多目的ホール		
参加者	☑本部長　☑上釜施設長 ☑管理者　津村希世美　☑サービス管理責任者　田中由香里 （構成員） ☑利用者代表　K 氏　☑家族代表　T 氏 ☑民生委員　T 氏　☑民生委員　K 氏 ☑三又小学校　S 氏　☑福祉事務所係長　T 氏		
議題	１．本部長挨拶 ２．構成員紹介 ３．業務報告及び会議目的 ・施設概要の説明 ・会議開催の目的 ・議題①利用者と地域と関係性づくり ・議題②利用者の日常生活の様子について ・議題③避難訓練について ・利用者の思い、家族の思い ４．質疑・意見交換		
内容	３.業務報告及び会議目的 ・添付資料に沿い説明を行った。 議題①利用者と地域と関係性づくり （T 氏）施設見学実施において具体的な内容を決めておくと良い。 例えば、訪問日の日程調整、茶話会に参加する等の目的を示すとわかりやすい （K 氏）様々な地域行事が行われているため、行事の情報はその都度、案内をしていく。 （S 氏）小学校・地域行事等は４月の段階で決まっているため、年間行事として予定しておくと進めやすい 陽の木祭り開催のことは、給食時間に校長先生から校内放送で案内してもらった。授業の一環として、地域を探検したり、施設をめぐる学習もしているため、１年を通して施設見学ができるのであればその機会が出来ると良い。 （T 氏） 今回は、第１回開催だが、第２回・３回と継続していけば、議事録等で残していくと思うが、ホームページで公表することも良い機会と思う。 （施設長） 当法人のホームページは充実しており、法人運営や規程、苦情対応、虐待防止に関する報告も行っている。ホームページを確認し内容を把握することも有効的なので閲覧して頂きたい。 ４.利用者の思い・家族の思い		

	（K 氏）陽の木の良いところは、自分らしく過ごせる、食事、水分摂取、排せつ、洗濯、出納管理のサポートをしてくれる。日帰り旅行や個別支援で行きたいところに行ける。訪問診療が始まったので、かかりつけの病院が減らすことが出来た。訪問リハビリに来てもらい残存機能の維持に努めている。 悪いところは、様々な障がいを持たれている方がいるので、奇声や騒音がストレスになる。物を壊し建物内が傷だらけなので、人には自慢できない。外国人雇用の職員は、日本語が理解出来ないので、対応が難しいときがある。 これからの暮らしについて、残存機能を維持しながらパソコン操作を楽しんでいきたい。家族や親せきや知人等、日ごろからお世話になっている方々との繋がりを大事にしたい、唐津が生まれ故郷なので、これからも思い続けたい （T 氏） ・日中一時支援や放課後デイのサービスの時から利用しており、こどもの時は、三又小学校の校庭で遊んだこともあって、15 年前からサービスを受けてきた。 ・現在、息子は２３歳です。これから先の生活を考え、家庭と GH の両立が大切と思い、今のうちから慣れていくために入居を決めました。 自宅に帰省した際には、会話の中で職員さんとの関わりや、他の利用者さんの様子などを息子から聞くことができ、どのように生活をしているのかを知ることが出来ます。週末に自宅に帰省するパターンですが、園に戻るときは、「今日に夜勤は誰かな～」と言いながら帰ってきます。陽の木には、外国人の職員さんもおり、その方の名前をすぐに覚え、新しい職員さんの名前もすぐに覚えるなど、日頃から、よく関わってもらっていることが伝わります。 これからも、息子の生活が穏やかに続いていくことを願っています。 4.意見交換 （T 氏） 通学路ではないが、通り道であるため、「こども 110 番の家」のポスターを貼らせてもらうと良い
決定事項	・学校行事や地域行事の年間予定を把握したうえで、地域連携推進会議としての取り組みを年間計画に反映させる。 ・議事録や関連する報告は、ホームページで公開する。 ・構成員が施設見学の目的を理解したうえ、日程調整を行う。
次回会議	令和８年度１１月予定